



2学期が始まりました！

1ヶ月の夏休みが終わり、2学期が始まりました。どんな夏休みを過ごしましたか。始業式で生徒代表の1年1組の竹川さんは「学習のためにゲームや遊びを我慢して、テスト勉強を工夫してやる。」2年1組の一ノ瀬さんは「提出を期限までに出す。目標達成のために言い訳をせずに取り組む。」3年1組の田村さんは「最後のきささげ祭を3年生全員でがんばりたい。残り少ない中学校生活の1日1日を大切に過ごしたい。」と2学期の抱負を語りました。きささげ祭、部活動の新人戦、生徒会の引き継ぎ、進路など、2学期は目標となるものがたくさんあります。目標をもって2学期をスタートしましょう。

「あずまやタイム」夏休み中も活動



10月27日(日)「善光寺街道イベント～あずまやマルシェ～」を開催します！

善光寺街道グループでは、多くの人に参加してもらうために、昨年度ウォークイベントを経験した高校生と作戦会議をしました。善光寺街道のガイドについて案内の仕方やコミュニケーションの取り方など貴重なアドバイスをもらいました。あずまやマルシェのPRについても相談し、高校生ならではのアイデアに感心する聖南中生でした。聖南中の頼もしい先輩方とともに、筑北村を盛り上げるためにがんばっています！



スペルト小麦グループでは、スペルト小麦(古代小麦)の初収穫をしました。稲よりも堅いスペルト小麦に苦戦しながらも、力を合わせて刈り取った小麦は、千歯扱きや足踏み脱穀機を使って、脱穀をしました。お借りした千歯扱きや脱穀機もはじめての経験でしたが、地域の方から教えていただきながら、たくさんの小麦が収穫できました。今後は、小麦を食材として加工していきます。



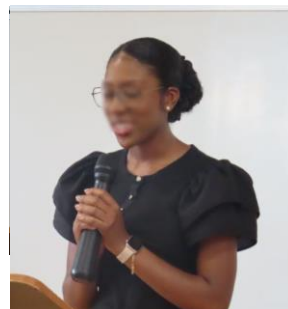
みどりの少年団交流会に参加しました

塩尻市の県林業総合センターにて、みどりの少年団に加入している団体の交流会が行われました。聖南中を代表して、男子バスケットボール部の1年生が参加しました。自然や林業に関わる学習を通じて、自然の大切さを感じることができました。自然に親しみながら、竹パン作りやレクリエーションを楽しみ、たくさんの人と交流する貴重な体験をすることができました。



マリッサ・ディクソン先生 welcome 聖南中

新しいALTの先生として、マリッサ・ディクソン先生をお迎えしました。マリッサ先生は、アメリカのアリゾナ州の出身です。はじめての来日となります。あいさつでは、「一緒に勉強することで、みなさんの英語力があがったら、嬉しいです。」とお話してくださいました。マリッサ先生とたくさんお話して仲良くなりましょう。そして、英語力もUPできるといいですね。



2 学期始業式 校長先生のお話（抜粋）

31 日間という長い夏休みでした。本日ここに、81 日間の 2 学期が始まります。ただいまは 3 名の皆さんに 2 学期の抱負を語っていただきました。さて、皆さんはこの長い夏休みをどのように過ごしたでしょうか？

とにかく「暑い」夏でしたが、そんな不快な気持ちを潤してくれたのが、パリオリンピックで躍動するアスリートたちの姿だったのではないのでしょうか。スポーツですから、「勝ち負け」や「メダルの有無」にはもちろん注目をし、勝っては喜び、負けては悲しむ、を繰り返しましたが、何よりも心打たれたのは、アスリートたちの真摯に競技に向かう姿勢、チームや仲間との絆、対戦相手に対する敬意、スポーツを通して身に付けた気高い人格等が、競技はもちろん、試合前後に聞かれた言葉や、テレビなどで紹介されるエピソード等から伝わってきて、本当に感動の連続でした。



さて少し気が早いですが、4 年後のオリンピック開催地を知っていますか？アメリカのロサンゼルスです。実は、今を遡ること 40 年前、1984 年の夏季オリンピックも開催都市はロサンゼルスでした。その時のスーパースターはアメリカの陸上選手カールルイス。出場した 100m、200m、走幅跳、男子 4×100 メートルリレーの 4 種目全てで金メダルを獲得するという偉業を成し遂げた姿に大変興奮したものです。

そんな夏休みのある一日のことを、私は今でも鮮明に覚えているのです。オリンピックが盛り上がっていたある日のこと。学級花壇の水やり当番だった自分は学校に行き、ぼんやりと花壇に水をまいていました。そして、ふと「次のオリンピックの時って、自分はどこで何をしているだろう？」という疑問が沸き上がってきました。中 3 の 4 年後は高校 3 年間をすっ飛ばして 19 歳。「19 歳か～、大学生になりたいな。」

そして 4 年後。1988 年は韓国ソウルオリンピック。自分はソウル五輪を大学 1 年生、東京の狭いアパートの一室で見えていました。ソウル五輪の注目は、ロス五輪のスーパースター、カールルイスが男子 100 ㍎で 2 連覇できるのか？大興奮のレースでした。「あ～、カールルイス負けたか～」と思った瞬間、あの 4 年前の水やりの時の風景を思い出したのです。「あっ、俺大学生してる！」と。と同時に「じゃあ、次のオリンピックの時、自分はどこで何をしているんだろう？」って浮かんできた。大学 1 年生の 4 年後は、卒業して就職しているはず。当時、ぼんやりと「教師になりたいなあ」と思っていました。

そして 4 年後の 1992 年。スペインバルセロナオリンピックを教師 1 年目の私は、長野市の古びた教員住宅の一室で見えていました。

私はオリンピックの度「次のオリンピックの時、自分はどこで何をしているのだろう。どうなっているのだろう。」と 4 年後のことを想像します。大人になって仕事に就いて、4 年くらいでは大きな変化はないだろう、という状態であっても、です。皆さんのような若者にとっての「4 年間」は変化が激しい時。4 年間で心や体はもちろん、状況や環境等に大きな変化が必ずやってくる。

例えば、今から 4 年後、皆さんがロス五輪を見ているとき、中 1 は高校 2 年生、中 2 は高校 3 年生、そして中 3 は大学 1 年生かもしれないし、就職しているかもしれない。どこで何をしているか想像もできないくらいなにもかも大きく変わっているはずです。

先ほど 3 名の皆さんが 2 学期の目標を語ってくれました。数ヶ月とか 1 年くらいの単位で「こういうことをやりたい」とか「こんなことを達成したい」という目標を「短期目標」といいます。一方、「将来はこういう仕事に就きたい」とか「その仕事に就くために、大学の〇〇学部に行きたい」とか「人の役に立つような生き方をしたい」など数年という単位をかけて達成したい目標を「長期目標」といいます。

長期目標と短期目標の違いは、長期目標は最終的に達成したい結果であり、短期目標は長期目標を達成する上で必要な具体的な行動や手順を指す、という点です。自分にとって満足のいく結果を得るには、長・短両方の目標を設定し、平行して取り組む必要があります。なぜなら、長期目標を設定しても、明確な短期目標がなければ、最終的な目標を達成できない恐れがあるからです。また、短期目標を設定しても、長期目標が明確でなければ、自分が何のために今頑張っているのかが分からなくなってしまうからです。

皆さんは、学期ごとや年度の初めに、学期や学年単位での短期目標を設定していますが、中・長期的な目標というものは、あまり意識していないのではないかと思います。

そこで皆さんに一つ提案です。4 年に一度必ず開催されるオリンピックを 1 単位にして、「4 年後、自分はどこで何をしているだろう」と考え、どんな自分になっていきたいか、を想像してみてもどうでしょうか。それを「長期目標」として意識することで、短期的な目標はより充実していくのではないのでしょうか。

さあ、早速想像してみましょう。4 年後のロス五輪、皆さんはどこで何をしていますか？理想の自分はどんな姿ですか？4 年後、ロスオリンピックを見ながら、4 年前、中学生時代に想像したことを思い出し、現実との答え合わせをしてみてください。皆さんの明るい 4 年後を期待し、私の話は終わります。